



| | |
|---------------|---|
| 発表項目 (行事名) | 駐日米国臨時代理大使の副知事表敬訪問について |
| 概要 | <p>駐日米国臨時代理大使 レイモンド・F・グリーン閣下が、次のとおり副知事を表敬訪問します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 令和3年11月18日(木) 17:00～17:20</p> <p>2 場所 本庁舎 3階 知事会議室</p> <p>3 出席者</p> <p>【相手側】 駐日米国臨時代理大使 レイモンド・F・グリーン</p> <p>【道側】 副知事 小玉 俊宏</p> |
| 参考 | ・在札幌米国総領事館から提供された資料 |

| | |
|-----------------|--|
| 報道(取材)に当たってのお願い | <ul style="list-style-type: none"> ・当日は、5分程度(冒頭挨拶)の取材の後、<u>いったんご退室いただきますが、表敬終了後、会場内で駐日米国臨時代理大使から所感コメントの発表があるため、取材される方は再度入室いただけます。所感コメントの発表にあたっては、質問をお受けいたしませんので、あらかじめご了承ください。</u> ・取材にあたっては事前登録が必要です。 ・取材を希望される方は、<u>11月17日(水) 17:00までに、別添様式により国際課の担当まで提出してください。</u> ・取材スペースが限られているため、新聞社については各社1名、テレビ局については各局3名(記者、カメラマン、助手)までとさせていただきます。 ・取材当日は事前に受付が必要です。 <u>11月18日(木) 16:45までに会場(3階知事会議室)にて、自社腕章と写真付記者証をご提示のうえ受付してください。取材の際は、受付でお渡しするプレス証を着用し、自社腕章と写真付記者証を携帯してください。</u> ・取材位置などについては、職員の指示に従っていただきますよう、ご協力をお願いいたします。 |
| 他のクラブとの関係 | - |

| | |
|-------------|--|
| 担当 (連絡先) | <p>総合政策部国際局国際課欧米交流係 (担当者:井上)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-204-5092</p> <p>内線 21-206</p> |
|-------------|--|



Consulate General of the United States of America Sapporo
在札幌米国総領事館広報文化交流部
〒064-0821 札幌市中央区北1条西28丁目
TEL: 011-641-1115 (音声案内に従って「0」を選択) / FAX: 011-641-2416

注: 本稿は取材便宜のための資料です。警備の都合上、
各訪問が終了するまで報道なさらぬようお願いいたします。

2021年11月16日

北海道政記者クラブ御中

駐日米国臨時代理大使レイモンド・F・グリーン 北海道訪問

平素より在札幌米国総領事館の事業活動に、深いご理解とご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

このたび、グリーン駐日米国臨時代理大使は、11月18日-19日に北海道を訪問します。この訪問は米国と日本のパートナーシップを推進し、特に北海道とマサチューセッツ州の姉妹州提携、および北海道とハワイ州の友好提携を通して育まれてきた民間交流を更に深化させ、また北海道が掲げている「ゼロカーボン北海道」のような気候変動問題の分野において北海道との更なる協力を促進することを目的としています。

北海道訪問中、グリーン駐日米国臨時代理大使は初めてウポポイ(民族共生象徴空間)を訪れます。多様性とその受け入れ(インクルージョン)を促進することはバイデン-ハリス政権の優先事項となっています。ウポポイは北海道の比類のない多様性を示すものであり、アイヌ文化を称えるものです。こうした多様性、女性のエンパワーメント、またLGBTQの権利促進についても米国と日本の協力が期待されます。

グリーン駐日米国臨時代理大使はこのほか苫小牧でのCCS実証試験を視察する予定です。北海道は日本の脱炭素また再生可能エネルギー分野でいち早くリーダー的役割を果たしています。在札幌米国総領事館を通して米国が日本と協力して、気候変動の危機に立ち向かっていきたいと願っています。

今回の訪問中、グリーン駐日米国臨時代理大使による小玉俊宏北海道副知事への表敬訪問が予定されています。この取材に関する詳細、申し込みにつきましては北海道総合政策部国際局国際課が配布する報道発表資料をご参照下さい。



Raymond F. Greene

Chargé d’Affaires ad interim

Raymond F. Greene assumed duties as Chargé d’Affaires ad interim, U.S. Embassy Tokyo on July 17, 2021. Prior to this assignment, he was the Deputy Director of the American Institute in Taiwan (AIT). Mr. Greene is a member of the State Department’s Senior Foreign Service and has spent his entire 25-year career advancing U.S. diplomatic, economic, and security engagement with the Indo-Pacific region. In Washington, Mr. Greene was Director for Japan and East Asian Economic Affairs at National Security Council and Director of the Office of Economic Policy in the State Department’s Bureau of East Asian and Pacific Affairs. In the latter capacity, Mr. Greene was elected as Chairman of the Asia Pacific Economic Cooperation (APEC) forum’s Economic Committee.

Overseas, Mr. Greene served as U.S. Consul General in Chengdu, China and Okinawa, Japan. Earlier assignments included Chief of the Political-Military Affairs Unit at the U.S. Embassy in Tokyo, Deputy Chief of the Political Section at AIT Taipei, and as a political officer in Tokyo and Manila. Mr. Greene was the first Baker-Kato Diplomatic Exchange Fellow at the Japanese Ministry of Foreign Affairs in Tokyo. He also was assigned as a State Department Faculty Advisor at the U.S. Army War College in Carlisle, Pennsylvania.

Mr. Greene holds a B.A. (Government/Japanese) and M.P.M. (International Security and Economic Policy) from the University of Maryland, College Park. He is the recipient of the Secretary of Defense Meritorious Civilian Service Medal, the Ryoza Kato Award for Advancing the U.S.-Japan Alliance, the Friendship Medal of Diplomacy (Taiwan), and several State Department Superior and Meritorious Honor Awards. Before joining the State Department, Mr. Greene was a researcher at the Peterson Institute for International Economics in Washington, DC and spent a year in Yokohama on the Japan Exchange and Teaching (JET) program. Mr. Greene speaks Japanese and Mandarin Chinese. Mr. Greene is married to the former Yawen Ko.



**駐日米国臨時代理大使
レイモンド・F・グリーン**

※日本語略歴は参考のための仮翻訳で、正文は英文です。

レイモンド・F・グリーンは2021年7月17日、駐日米国臨時代理大使に就任した。前任は、米国在台協会(AIT)台北事務所副所長。国務省の上級外交官であり、25年間のキャリアで、米国のインド太平洋地域への外交、経済、安全保障上の積極的関与を推進した。ワシントンでは、国家安全保障会議の日本・東アジア経済担当部長を務めた。また、国務省東アジア・太平洋局では、経済政策部長を務めたほか、アジア太平洋経済協力会議の経済委員会議長にも選出された。

海外では、中国・成都の米総領事や在沖米総領事を務めた。それ以前は、在日米国大使館の政治部安全保障課長、AIT台北事務所の政治部副部長、在日米国大使館および在フィリピン米国大使館の政治担当官などを歴任。ベーカー・加藤国際交流プログラムフェローの第一号として、東京の外務省で勤務。また、ペンシルベニア州カーライルの米陸軍戦略大学で国務省のファカルティアドバイザーを務めた。

メリーランド大学カレッジパーク校で学士号（政治学および日本語）と公共経営修士号（国際安全保障と経済政策）を取得。国防長官民間人功労賞、日米同盟に尽力した人物に贈られる加藤良三賞、外交友好勲章（台湾）、国務省優秀名誉賞および功労名誉賞を受賞。国務省入省前は、ワシントンのピーターソン国際経済研究所で研究員を務めたほか、語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）で1年間横浜に滞在した。日本語と標準中国語を話す。妻は柯雅文（ヤーウェン・コー）。